こすど公民館報

発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部　15円
印刷所　昭栄堂印刷所

社会教育と人の問題

県社会教育主事を囲んで協議会

去る五月二十一月、当町へ県より秋沢、椿両社会教育主事の計画方問があった。

これを機会に中央公民館で、各杜教機関、団体の代表役職員十余名が両主事を囲んでの研究協議会を開いた。

テーマとして
1　人的体制の確立
2　分館活動の推進
3　社会教育事業と他の部局との連携

の三つを取り上げ、間野館長司会によって進められたが、それぞれの立場における問題点、脳みそ、それの対策等活発な意見の交換がなされ、両主事の適切な指導助言もあって内容として大いに得るところがあった。

分館活動、他の部局との問題も含めて話題の焦点は人的体制の確立にしぼられた感があったが、ことほどさように現在社会教育において一番大きな悩みは人の問題である。

特に当町のように次から次へと立派な新しい施設が完備した場合（中央公民館、総合グラウンド、レインボープランの温室、陶芸ワークルーム等）、それに応じたいろいろの事業や行事が要望され、同時に又それに即応した人的体制が必要となるわけである。

第一に考えられるのは専任職員の増強であるが町財政の上からなかなか至難の問題である。これにかわるものとしては、県費または国の補助による社会教育指導員、派遣社会教育主事の導入増員を図ることであるが、来年度こそ是非一名の確保をと両主事に対し強く訴えた次第である。

次はボランテイア（奉仕活動者）体制の強化である。

現在でも社会体育関係その他主要行事等は奉仕の方々によって支えられているのであるが今後更にその巾を広めてゆかねばならない。

特に青少年の健全育成分館を中心とした子供会等の結成や育成には絶対的な条件である。

学校教職員（特に地元出身）役場職員、各地域の青年団、婦人会その他関心熱意をもたれる方々の積極的なご協力を得たいものである。地域協力員等を依嘱することも一方法であろう。

こうした人材開発と後継者の養成等によって将来を見通しての人を確保し、またそれに対する相当のお酬いといったのも十分考慮されねばならない。

こどもと茶の湯

ふだんの動きからは想像もできない
静の世界
キチンと座し、三ツ指をつく所作に
風情溢れる
順番がすぎ、満足と安堵のなかにホッと笑みが浮かび、好ましい
流派や格式よりも茶道の心を知ってほしい、とは主宰者の弁
知ってか知らずか、茶室は至って静寂の感あり
しかし、シビレをきらすと現代っ子が顔を出す　（白）

（こども茶の湯教室　中央公民館にて）

親子でどうぞ
室内レクリエーション

日時＝6月27日（日曜日）
午後1時～3時半
会場＝中央公民館3階大ホール
（たまにはお父さんもいかがですか？親子のきずなは肌のふれあいから始まります。）

五十一年度総会盛大に開催
老人クラブ連合会

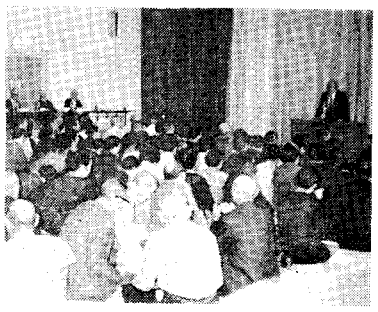
去る五月二十九日、午前十時三十分より、中央公民館三階大ホールにおいて、老人クラブ連合会（白井門蔵会長）の定例総会が行われ、三百名の会員が参集して盛大に催されました。

当町から、五十嵐町長高山議会議長・宮崎社会福祉協議会長　間野中央公民館長の各位が来賓として出席されました。

同じく来賓として出席された泉谷中蒲社会福祉事務所長さんより、祝辞を兼ね、「老人福祉について」等のご講話がありました。

総会に入り、五十年度の事業及び決算報告があり、続いて新年度事業及び予算案が承認され、無事終了しました。

その後、加茂の土田芸能社より招かれた八名が華麗な芸の数々を披露し好評を博しました。



第八回「かんぽ資金」写真コンクール

郵便局の簡易保険積立金は地方公共団体に融資され広く役立っていますが当町においても役場庁舎・ガス・水道・町営住宅・道路・学校等に貸付けられています。今回、郵政省ではかんぽ創業六十周年記念として、写真コンクールを実施しますので多数ご応募下さい。

〈実施要項〉
※題材＝簡保資金融資施設を題材とした作品。
※サイズ＝カラーはスライド三五㎜以上、白黒は四ッ切り。
※賞＝（カラー・白黒）
推薦一点　五万円とトロフイー
特選二点　三万円とトロフイー
入選五点　一万円と楯
佳作二〇点　賞品
参加賞　応募者全員
※〆切＝八月十日
※提出先＝小須戸郵便局（詳細は郵便局へ）

「やひこ号」栄養指導車巡回

栄養指導車やひこ号が次により巡回指導いたします。今回は高血圧要注意者の脳卒中予防のための食事指導（調理実演）が行われますので台所を預かる主婦の方々、お誘い合わせの上多数お出かけ下さい。

※六月二十四日
・午前十時～十一時半　小須戸町丁専寺境内
・午後一時半～三時　小向公会堂前
※六月二十五日
・午前十時　十一時半　竜玄仙人海寺前
・午後一時半～三時　新保公会堂前

指導
巡回指導員
町食生活改善推進委員

ご寄附御礼

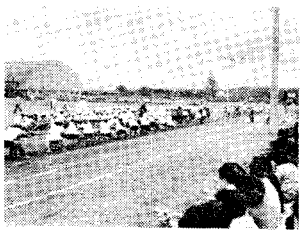
新潟市学校町にお住いの相沢ミサオさんより毎月送ってもらう公民館報のお礼にと、金一万円を中央公民館へご寄附くださいました。

厚く御礼申し上げます

二小学校で春の大運動会

六月六日（日）、朝から小雨模様で心配されましたが、小須戸・矢代田小学校とも準備をして待機約一時間遅れて午前九時半にようやく実施されました。

このようなお天気にもかかわらず、多数の来賓や父兄が応援にかけつけ元気に走りまわる子どもたちに、さかんな声援を送っていました。



長寿大学案内

六月後半
一七日（木）民踊ク
二二日（火）全日全体学習日「老人ぼけを防ぐには」話し合い（午前）
講話「健康と長寿」岩室温泉病院長　広神伊藤先生（午後）
二三日（水）生花ク
二五日（金）園芸ク
二七日（日）陶芸ク
（吉田甚五郎先生指導）
二八日（月）書道ク
三〇日（水）料理ク

七月前半
一日（木）民踊ク
〃　〃　囲碁ク
三日（土）陶芸ク
六日（火）開校五周年記念大運動会（午後町民体育館で開催）
七日（水）読書ク
九日（金）園芸ク
一二日（月）書道ク
一四日（水）生花ク
一五日（木）民踊ク
〃　〃　囲碁ク

「発見された須藤家資料から」

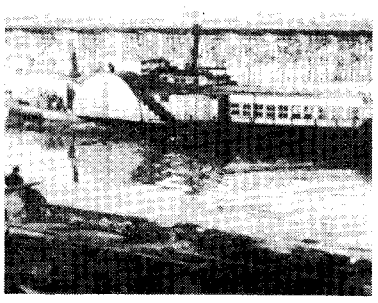
安進丸の小須戸町関係株主（明治十九年九月）
（小須戸）吉田一策・小泉慎思郎・玉木良左衛門・須藤保太郎・川村亀太郎・吉田辛蔵・五十嵐篤松・須藤省太・青木勇左衛門・吉村伝次郎・河内栄次郎・小泉宇内・加郎元次郎・河内清吉・石井浪次郎・村山三六・村山巳之吉・吉田直治・吉田林太・千葉玄済・須藤藤作・吉村伝蔵・五十嵐純・五十嵐助次右衛門・佐藤亀次郎・近藤栄松・海津岩二郎・本間常作・佐藤文作・本間直衛・小林駒蔵・吉田曾三七・長沢淳信
（横川浜）白井六兵衛・吉田清三郎・小柳易行・小林圓勢・吉田源七
（新保）丸山九右衛門・坂井準蔵・新井田三代蔵・佐藤栄吉・折笠太三次・須藤弥平・折笠三郎
（うでこき）藤井太一郎・藤井太郎在衛門

株主総数二二九名のうち、当町関係は四七名、安進社の副社長には吉田一策氏が就任しています

船は一号船から四号船までであったようです。

この会社の資本は五千株で十万円です。

（柏大治）



続小須戸風土記
土俗信仰　薬師さま

柏大治

薬師さまは、仏さまで、菩薩より一段心境が上だとされています。

人間と仏の心境は五十二段の差があるといわれ動物と人間の差は一段といわれています。

薬師さまも、釈迦の理想の分身で阿弥陀如来、薬師如来、大日如来、釈迦如来と共に仏の代表でありましょう。仏とは因縁（いんねん）から、ほどける意味にもなります。

当地方にも古くから薬師信仰があったと思われます。大正五年、田宮鉄太郎町長時代につくられた「町是」という木には毎年五月八日を薬師祭として農業休日の日とされています。

現在、長海寺さんの境内に薬師堂がありまして非常に珍らしい「たいない薬師さま」が祭られています。

慶応四年七月二十九日の会津兵火には二百二十五戸、社三社、住吉薬師堂、行家焼失、御手充ありと新発田藩史料にあります。

御本尊の薬師さまは焼失を免かれたものと思います。御堂の再建は矢代田の本多様が寄進されたと長海寺さんからお聞きしたことがあります。

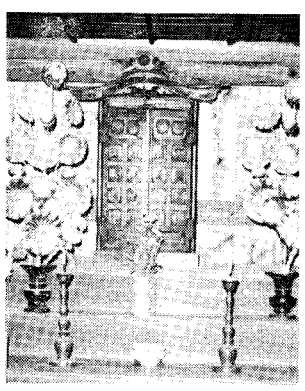
明治二年九月の御検見田ノ郷内帳に薬師堂郷という地名がのこっております。

新保から鵜出古木方面と思いますが、現在小字名がないようです。

仏教が伝来したのも抜苦与楽で、生老病死といわれる、病をなおす仏さまとして広く信仰をあつめたものと思われます。

金光明経の中の「除病品」や最勝王経の（医科分類）などにもうかがわれます。

新保の正福寺さんの御本尊も薬師さまだといわれています。



長海寺薬師堂の内陣

百八十レインジャー誕生！
三年生児童交歓会
大沢へハイキング

幼稚園の卒園児が二年前の約束どおり交流を行いましたが、多数の参加を得、心あたたまる有意義な一日でした。

五月三十日、好天に恵まれて、小須戸幼稚園第二回卒園児（現小学三年生）の交歓会が大沢で行われました。

田植えの終った最初の日曜日、関係児童の半数以上が参加し、招待した幼稚園の先生、関係父母合せて総勢百七十名。

山ノ手児童公園で開会式を行い、主催者代表の矢代田小、小須戸小三年生全員百八十名のお友だちが、みんなで仲よく、力を合せてがんばって下さいと、ゴレンジャーにちなんだ一三年生全員百八十レインジャー」と命名の挨拶のあと、大沢まで幼稚園当時のクラス単位でハイキング。

大沢では、全員で主会場とした周辺の危険物（ガラス片等）の収集を行った後、トン汁で中食を楽しみ、「オナラ」の民話を聞いたり、幼稚園当時のクラスに別れて児童が発表した「泳げタイ焼き君」「がんばれロボコン」「東村山一丁目」の歌など、ドリフのものまねも入って一層盛りあがり、最後は、両校の校歌と、さよならの歌で閉会。とても楽しい一日でした。

小須戸幼稚園の開設にともない、小学校校区の異なる友達が一年間一緒に学んだ後、中学で再会する迄の六年間を別れて小学校生活をする。その途中でこのような交歓会をと、四十九年三月（卒園時）に企画されていたものです。

参加児童の交通事故、怪我などと、幼稚園に通園されなかった同級の友達の扱いに対してが配慮の重点でした。今後、両小学校のPTA学年部会の合同行事として、このような交歓会が企画されるなら、より容易に実行できて、かつ効果も上ると思います。

皆で一緒に青少年の非行化防止を考えるなら、また、自分の子供が、他人に迷惑をかけない社会人として成長することを望むならば、皆で協力して色々企画してみませんか。そして親子で参加しませんか。子供は、より多くの友達に揉まれながら社会人として必要なものを身につけていくでしょう。また、地域の父母同志がガッチリまとまり、信頼感で結ばれているなら、その中から問題児は出ないでしょう。

このたびの交歓会に、関係者の九割台が参加して下さった、新町・竜玄矢代田地区の皆様には、敬意を表します。

（本多勇三郎）

運動会は十月十日
美術展の会期を延長
二大行事の要綱決まる

昭和四十五年に再開された町民運動会は二年連続雨天のために中止となり、今年が第五回大会。

美術展は去年から始まったもので、文化祭の新しい流れとして第二回目を迎えますが、これら二つの公民館行事について各々、代表者会議や運営委員会を設けて検討され着々と準備が進められています。なお、この他にも総合スポーツ大会が文化祭行事として計画されており、目下、準備・運営のための組織作りが行われています。

以下、要点を記し各催しとも多数のご参加を期待いたします。

――◇――◇――

◎**町民運動会**

期日＝十月十日（日）

会場＝中学校グランド（雨天の場合は町体）

チーム＝各分館対抗・ただし町部と矢代田分館は各二チームに分け、合計六チームとする。

種目＝後日、各戸に配付

子供から年寄りまで楽しめる種目を編成。

◎**町美術展**

期日＝十一月二日（火）～七日（日）の六日間

会場＝中央公民館大講堂

搬入＝十月二九日（金）～三一日（日）まで。

部門＝日本画・洋画・書道・写真・工芸・彫塑

応募資格＝町内在住又は勤務する者（ただし、中学生以下は除く）

その他＝出品料は無料。一人一部門につき三点以内。無審査。

（詳細についての問い合せ、要綱の請求等は公民館へどうぞ。）

【青年通信】

◎**勤労青年学級**

・六月一日より早朝野球を開始、毎朝五時半に中学校グランドへ集合して練習をしている。

・五月三十日の町民ハイキングに参加し、レクリエーションや山菜とりをして楽しい一日を過ごした。（写真）

◎**ギタークラブ**

六月十八日、白根市のギター愛好会と交歓会を行い、合同演奏会等について懇談する。

◎**無線クラブ**

先般行われた国家試験に五名が合格。八〇％の合格率に会長も満足顔？

なぎさ
〝我が小須戸町の〟燈籠押しに一言

本町一丁目　田中　弘

家庭、職場、そして小須戸町は大事にしたいものです。我が町にも年中行事や催し物はたくさんありますが、今回、特に「秋祭り燈籠押し」に一言提案したいと思います。

一、押し合いは二十五日は下町、二十六日は上町で都合二回行う。

二、各町内とも（各組でもよい）子供のたるみこしをかつがせる。

三、新潟まつりで押し合いをやりPRする。

とりあえずこの三点をぜひ役員会等で、また町民みんなでそれぞれ話し会ってほしいと思います。

必ず障害や反対はあると思いますが、町をにぎやかにするためにも、ぜひ前向きに話し合ってほしいと思います。

最初の押し合い二回案は何度も言うように町をにぎやかにする為。各組とも屋根のスペアを作っておけば可能だと思います。また、チームワークを乱す者や「おみき」を飲み過ぎた人、乱暴する者などは警察に引き渡すように事前に徹底し、押し合いする者も見物する者もフェアーに行うことこそ二年間はうまくいったんだからできると思います。

子供の件は聞くところによると二～三町内で出したいといっていましたが、全町でやったらどうでしょうか。かつぐ喜びやストレス解消、夏休み最高の想い出となり、また、後継者の育成にもなります。

費用はいくらもかかりません。燈籠の方から少し分けてもらったら？

三番目の件は、ポスターのみのPRより生の宣伝が何倍も効果があります。TV、ラジオも良しまず実行！

最後に祭り期間中、今日は何処、明日は何処でなく、全町通行止めにして、本町通中央町通で踊ったらいかが。

関係団体、各町内代表の人達が集まって打合せ会を開き、これも前向きで検討していただきたいと思います。

分館だより

◎**新保分館**

新保寿会では、多忙な田植え作業も一通り終了された五月三十日（日）、新保正福寺本堂を会場に昭和五十年度総会を開催しました。出席会員は、来賓を含めて百余名で年毎に盛会に行われております。なお、総会終了後に新保分館民踊クラブ員七十名の皆さんが、大貫智州先生の特別出演も併せて数々の踊りを披露され、寿会々員の皆さんに心から喜ばれました。同民踊クラブは、毎年敬老会などにも踊りお年寄りに感謝されています。

―都市対抗県予選―
優勝チーム長岡に惜敗!!
小須戸町庭球協会

五月九日、長岡市々民庭球コートで行われました五十一年度全国都市対抗県予選大会で、初出場の小須戸町は強豪長岡市新潟市と対戦、好ゲームを展開しました。

〔決勝リーグ戦〕

・小須戸町1：4新潟

・小須戸町2：3長岡

この結果　一位長岡市

二位新潟市、三位小須戸町となりました。

〈出場選手〉

・一般男子　小柳・藤田

・〃　女子　小林・高山

・成年　関根・高橋

・教員　関根・荒井

・壮年　渡辺・西村

特に一般女子の小林・高山組、一般男子の小柳・藤田組の活躍ぶりは素晴しいものでした。来年度に備え、選手たちは今から練習に励んでいます。

寺お講作品展
写真と書道

写真クラブ「ゆうなべ会」と長寿大学書道クラブが共催して作品展を行います。多数ご観覧下さい。

日時＝6月20日（日）

昼：午前9.00～17.00

夜：午後7.00～9.00

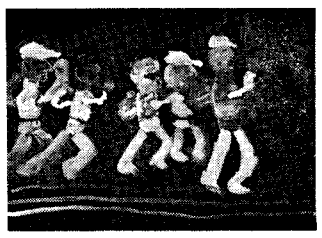
会場＝中央公民館3階大ホール

ジャズレコード
鑑賞会を開催

6月20日　午後1.00

於：中央公民館視聴覚室

児童作品展



◎絵画

矢代田小学校一年生　佐藤　卓

黒い画用紙いっぱいに運動会の模様を書いています。

絵の具の濃淡で、遠近感もよく出ておりなかなかの秀作です。

次回は小須戸小学校の皆さんの作品です。

たんじょうび

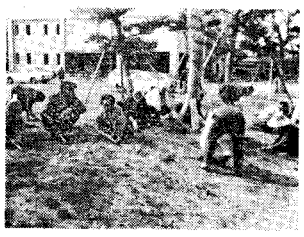
矢代田小二年二組　きつ　きよみ

あさおきたら、おかあさんは、いもうとのたんじょうびのしたくをしていました。いそがしそうだったので、わたしといもうとは、いっしょにてつだってやりました。みんなしたくができたのでふみこちゃんをよびにいっていっしょにいもうとのたんじょうびをやりました。はじめは、いもうととわたしのうたでした。二ばんめは、なぞなぞでした。三ばんめは、わたしのつくったかみしばいでした。

おかあさんが「ゆみちゃんの手じながいちばんおもしろいよ。」といいました。四ばんめは、ハーモニカとタンバリンをつかって、ゆめのおはなしと大ゆき小ゆきをやりました。五ばんめは、学校でつくったすきですか、きらいですか。です。六ばんめは、おやゆびひめのげきでした。いもうととわたしは、三日くらいれんしゅうをしましたが、なんかいいもうとにおしえてもおぼえられなくてわたしがいってあげました。おかあさんとふみこちゃんは、おきゃくさまなのでふくをきがえたり、いもうとにおめんをかぶせたりしていそがしいでした。わたしがおやゆびひめで、いもうとがカエルやちょうやかぶと虫やねずみのおばさんやツバメや天子のおうじさまになり、おやゆびひめとツバメがぎゃくになって「ツバメがおやゆびひめにおんぶされたところがーばんおもしろかったよ。」

とおかあさんがいいました。七ばんめは、ペアーマッチでした。いもうとが三つ、おかあさんが一つ、ふみこちゃんは、なんにもあたらなかったのでエンピツをあげました。八ばんめはわたしのつくったにんぎょうげきをやりました。いちばんさいごにプレゼントです。おばあちゃんはケーキ、おとうさんは、かみしばい、おかあさんはひらがなあそびのどうぐ、ふみこちゃんは、びんせんとこもの入れ、わたしは、おりがみでつくったくびかざりを二つあげました。いもうとはなんかいもなんかいも「ありがとう　ありがとう。」といってとてもうれしそうでした。

長寿大学生が草とり奉仕行う



最高令者は九三才

六月四日、長寿大学全体学習を終えた同大学生約八十名が、中央公民館役場・武道館のまわりの草とりを行いました。

各自持参のカマで約一時間ほどで全部終了。

参加者で最高令は島倉ツヨさん九三才でした。

皆さんご苦労様でした。

五月句会報

小須戸町俳句同好会

蒲原の植田ひろがり吹流し　山葵

夜の新樹汽笛上下線とも同じ　越楼

耕耘機とだえて蛙の夜となる　香月

山寺や斉の木皿の木の芽和え　良遊

花冷えや着るものばかり旅カバン　芳人

春晩の靄濃く淡く摩天楼　松山

薫風や百姓らしきわが日焼け　太浪

大渦を出て落ち椿流れけり　静花

強風にチューリップ畑色流れ　紀男

蛙鳴く田に満月の据りたり　樫男

昼深き風の梳く音竹の秋　虚秋

築山を破りて擬宝珠芽吹きおり　林哉

春昼のハタと止んだる耕耘機　石秋

連日の晴や葡萄の若芽張る　四山

皐月

中央町三丁目　我妻清作

暈帯びる月を仰げば庭木々の青みかをりて

寂しさの然ゆ